

令和6年度

大和市協働事業提案申請書類一式



大和市イベントキャラクター ヤマトン

～ 目 次 ～

	事業名	種類	協働事業者／市の事業担当課	ページ
1	ふれあいの森ドッグラン運営管理	市民 提案型	結の会 ／みどり公園課	1
2	地域で支え合う 「のりあい」を走らせよう	市民 提案型	地域と市との協働「のりあい」 ／街づくり総務課	10
3	生活に役立つ日本語の読み書き を学ぶ「つま読み書きの部屋」	市民 提案型	NPO 法人かながわ難民定住援助協会 ／国際・男女共同参画課	23
4	地域と学校の連携による大和市立 渋谷中学校学校開放事業	市民 提案型	渋谷きんりん未来の会 ／図書・学び交流課	34
5	移動制約者の外出介助サービス 事業	市民 提案型	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる／障がい福祉課	46
6	障がい者・高齢者のための 「外出介助サービス」事業	市民 提案型	NPO 法人大和市腎友会 ／障がい福祉課	57
7	有償移動サービス	市民 提案型	NPO 法人たんぽぽ ／障がい福祉課	67
8	みんなでつくろう安心のまち事業	行政 提案型	大和女性防犯会 ／生活あんしん課	76



令和 6年 5月 8日

令和6年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 結の会

代表者の職名・氏名 ふりがな 会長 村岡信弘

住 所 _____

連絡先 _____

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	ふれあいの森ドッグラン運営管理
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 () <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類 (※) (定期総会資料) <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



令和6年4月12日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	結の会
事業名称	ふれあいの森ドッグラン運営管理
協働したい担当課	みどり公園課

解決したい課題	<p>犬をノーリードで、飼い主と伸び伸びと遊ばせる場所を運営管理する事により、主に大和市民の福利厚生に資する場を提供してゆく事。 また会員制とする事により、見知らぬ人・犬とのトラブルを事前に避けられるようにする。</p>
事業の目的	<p>犬のしつけとマナーの向上及び、犬と人との触れ合いを通して会員相互の親睦を図り、ドッグランの運営を介して公園清掃など地域社会に貢献すること。</p>
事業の内容	<p>会員登録説明会の企画運営（グリーンアップセンターにて3か月毎）。 毎月第3日曜日に犬同伴の公園清掃（夏季7～9月を除く）。 ドッグランの運営及びイベント企画。</p>
事業実施で得られる成果	<p>関係機関との連絡調整が円滑となり、PRにおいても多くの方に知っていただく事ができ、地域との連携も深まることから、より開かれたドッグランの運営管理を行う事が出来ると思います。 また人と犬と一緒に運動する事により、市民と飼い犬との健康に良い影響があります。</p>

令和7年度 事業予算	235,000 円(希望市負担金額 0 円)
役割分担	【応募者】 結の会会員 ドッグラン維持運営管理 ふれあいの森公園広場の定期清掃 新規登録者説明会および登録更新会の開催
	【市の事業担当課】 市側の予算管理 新規登録会に関する広報誌への記載等
市との協働の 必要性	県内の他同様施設と比較しても広大な敷地となっております。 これだけの敷地を用意するのは同好会レベルの者では無理なため、 防衛省から土地をお借りしている市役所さんとの協働は必須です。
協力団体	無し
その他	犬を伸び伸びと遊ばせたいと考える飼い主は多く、新規登録者も順調に 増えており、ドッグランに対する市民のニーズはあります。 広大な敷地でのドッグランの運営について、同好会では敷地の確保が困 難であるため、協働事業として継続する必要があります。

◆スケジュール

【令和7年度】

実施月	実施内容
6, 9, 12, 翌3	新規登録会および更新登録会
7~9以外の各月	ふれあいの森広場定期清掃
主に夏場	場内整備(草刈り)

【令和8年度】

実施月	実施内容
6, 9, 12, 翌3	新規登録会および更新登録会
7~9以外の各月	ふれあいの森広場定期清掃
主に夏場	場内整備(草刈り)

【令和9年度】

実施月	実施内容
6, 9, 12, 翌3	新規登録会および更新登録会
7~9以外の各月	ふれあいの森広場定期清掃
主に夏場	場内整備(草刈り)

◆収支予算書

【令和7年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
交付金	40,000	公園愛護会
新規登録費(市内)	55,000	80名 + 30頭 (@500)
新規登録費(市外)	50,000	25名 + 25頭 (@1,000)
更新登録費(市内)	30,000	30名 + 30頭 (@500)
更新登録費(市外)	60,000	30名 + 30頭 (@1,000)
収入合計	235,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
場内整備費	85,000	草刈機・場内整備諸費用
通信費	50,000	ドメイン料及送料等
事務費	100,000	運営諸経費・ベテルギウス室料
支出合計	235,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和8年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
交付金	40,000	公園愛護会
新規登録費(市内)	55,000	80名 + 30頭 (@500)
新規登録費(市外)	50,000	25名 + 25頭 (@1,000)
更新登録費(市内)	30,000	30名 + 30頭 (@500)
更新登録費(市外)	60,000	30名 + 30頭 (@1,000)
収入合計	235,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
場内整備費	85,000	草刈機・場内整備諸費用
通信費	50,000	ドメイン料及送料等
事務費	100,000	運営諸経費・ベテルギウス室料
支出合計	235,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和9年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
交付金	40,000	公園愛護会
新規登録費(市内)	55,000	80名 + 30頭 (@500)
新規登録費(市外)	50,000	25名 + 25頭 (@1,000)
更新登録費(市内)	30,000	30名 + 30頭 (@500)
更新登録費(市外)	60,000	30名 + 30頭 (@1,000)
収入合計	235,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
場内整備費	85,000	草刈機・場内整備諸費用
通信費	50,000	ドメイン料及送料等
事務費	100,000	運営諸経費・ベテルギウス室料
支出合計	235,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

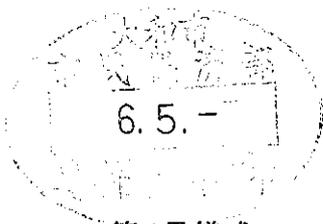
※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

団体の名称等	結の会 【代表者の職名・氏名】会長 村岡信弘
団体の住所
連絡担当者 及び連絡先	ふりがな 担当者名 電 話 FAX..... e-mail 住 所
ホームページ	http:// www. f-dogrun. jp/wordpress/
設立年月	平成 18 年 6 月 (法人格取得時期 平成 年 月)
設立の目的・ 経緯	平成 18 年 6 月に水と緑課の行政提案により「ドッグラン設置事業」として発足。 ドッグランの完成より平成 22 年度から市民提案による「ドッグラン管理運営事業」になり現在に至る。 犬のしつけとマナーの向上及び犬と人とのふれあいを通じて会員相互の親睦を図り、ドッグランの運営を介して地域社会に貢献する事を目的とする。

<p>主な活動地域</p>	<p>■ 大和市内を中心に活動</p> <p>□ 市外を中心に活動</p> <p>(活動地域：)</p>			
<p>活動内容と活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあいの森ドッグラン管理運営 ● ドッグランの登録説明会の開催 (3か月毎) ● 犬連れでのふれあいの森広場の定期清掃活動 ● 令和6年4月1日現在までの登録会員は1071組 (1家庭毎に番号を採番) 			
<p>会員数</p>	<p>1071 組</p>			
<p>過去に助成を受けた実績</p>	<p>支給団体名</p>	<p>年月</p>	<p>金額</p>	<p>内容</p>
	<p>公園愛護会</p>	<p>2023年6月</p>	<p>40,000円</p>	<p>交付金</p>
	<p>公園愛護会</p>	<p>2022年6月</p>	<p>40,000円</p>	<p>交付金</p>
	<p>公園愛護会</p>	<p>2021年6月</p>	<p>40,000円</p>	<p>交付金</p>
	<p>公園愛護会</p>	<p>2020年6月</p>	<p>40,000円</p>	<p>交付金</p>
	<p>公園愛護会</p>	<p>2019年6月</p>	<p>40,000円</p>	<p>交付金</p>
<p>協働事業の実績 ※継続事業の場合のみ記載</p>	<p>市担当課名</p>	<p>年～年</p>	<p>負担金</p>	<p>内容</p>
	<p>みどり公園課</p>	<p>2023年6月～ 現在</p>	<p>0円</p>	
	<p>みどり公園課</p>	<p>2012年6月～ 2023年5月</p>	<p>0円</p>	
	<p>みどり公園課</p>	<p>2021年6月～ 2022年5月</p>	<p>0円</p>	
	<p>みどり公園課</p>	<p>2020年6月～ 2021年5月</p>	<p>0円</p>	
	<p>みどり公園課</p>	<p>2019年6月～ 2020年5月</p>	<p>0円</p>	



第4号様式

令和6年 4 月 13 日

令和6年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 地域と市との協働「のりあい」

代表者の職名・氏名 ^{もりがな} 代表 滝澤 誠

住 所 (代表者) _____

連絡先 (代表者) _____

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	地域で支え合う「のりあい」を走らせよう
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

^{ごめい} ※ 以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、口^{くち}にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類 (※) (令和5年度事業報告、会則、「のりあい」ニュース、組織図) <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書(令和5年度収支決算書)
------	--

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



第1号様式

2024年 4 月 13 日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	地域と市との協働「のりあい」
事業名称	地域で支え合う「のりあい」を走らせよう
協働したい担当課	街づくり総務課 街づくり調査係

解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の利用者ニーズに沿った、外出の足として、地域の乗物ならではの、地域内で人々の交流、生活サポート面も含めた総合的な生活の足の確保。 ・年齢による変化等、いち早く把握できる面は実証されつつあり、専門的な観点から、早期に問題解決が可能となる関係機関との連携を、今後も継続していく。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・運転、運行管理部分を交通事業者から市に業務委託し、地域主体で生み出した地域交通として、運行地域の特性特色ある、新たな地域生活交通「のりあい」として安定した運行を継続する。 ・委託事業の市、運行管理事業者と「のりあい」地域との連携、協力関係をより高め、地域の良好なコミュニケーションを育み、住民が協力し、支え合う気持ちを大切にする住み心地良い地域づくりにつなげる。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○バス事業者との協力 ・添乗者による利用者への可能なサポートの継続実施。(利用者の安心、安全の確保) ○地域での協力 ・バス停の維持・管理及び周辺のクリーン活動 ・バス停の設置個所の検討、地権者との交渉等 ・遅延の際の情報を市、事業者と共有し、地域に周知 ・運行に関する地域の声の集約及び運行への反映 ○のりあいニュースの発行(月1回) ・自治会での配布協力により、地域での認知・協力の基盤に発展 ○地域交流会の開催(年1回) ○地域での楽しみ・集まりの場との連動、参加が可能であれば、協力し、地域との連帯をより高める。

<p>事業実施で 得られる成果</p>	<p>★協働事業14年の継続実施から見えてきた成果の継続 ＜特に高齢者、身体的弱者等の利用状況から＞</p> <p>① 外出の頻度が上がり、心身共に、健康の維持増進につながっていることが実感できている。また、老化予防の役割大実証。</p> <p>② 「のりあい」ルート、近隣の人々との交流により、新たな地域コミュニティが生まれ、行政、医療等の情報を得、具体的な利用につながっている。</p> <p>③ 適度な車内での会話により、日常生活の張り、関心、意欲が伺える。</p> <p>④ 外出の保障は、健康長寿の一翼を担うこととなる。</p> <p>⑤ 帰路が分からなくなった方の早期発見・帰宅、外出中の不測の事態に、地域・のりあい内情報・人々のつながりにより、早期解決の役割を果たす。(地域の利用外の方からも情報あり)</p> <p>⑥ 妊婦さんや乳幼児連れの家族と、高齢の方々との交流が車内を明るくし、また、生活の知恵を得る場所になっていく。</p> <p>⑦ のりあい地域に転居の方から、違和感なく地域に馴染むことができ、子供達にも安心と感じられ、良かったとの声も複数あり。</p> <p>⑧ 地域を越えて、親しい友達ができ、日々が楽しくなった方々が増えている。</p> <p>★長期に渡る新型コロナ禍とその後のインフルエンザの状況下、可能な外出支援のサポートの継続で、令和6年以降も、その時に可能な範囲での活動を創意工夫し、地域コミュニケーションの関りと、運行ルートを中心とした清掃活動等、日々実施し、地域内での日々の交流を育てていく。</p> <p>⑨ 地域9自治会と連携し、地域コミュニティの活性化・向上に寄与できている。</p>
<p>令和7年度 事業予算</p>	<p>1,152,000円(希望市負担金額 800,000円)</p>
<p>役割分担</p>	<p>【応募者】</p> <p>○協働事業の目的に沿った「のりあい」事業の運営への協力 ・上記事業内容に沿った活動</p> <p>○地域コミュニティの活性化のための取組み ・利用者と地域とのつながりを維持、新たな地域での参加の場の案内</p> <p>○添乗の新たな参加を募る</p>

	<p>【市の事業担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のりあいの運行に関すること。 ・協働事業者の協力（活動）に対する支援 ・関係機関との連絡調整
市との協働の必要性	<p>本事業のような、地域レベルで小規模な需要に対応する地域交通の必要性は今後も高まることが予測され、移動性の向上により市民の外出意欲を高めていくことは市の総合交通施策とも合致します。</p> <p>単に移動手段を確保するだけではなく、市とバス事業者及び地域が連携・協力して、より安心できる移動サービスを提供し、コミュニティの醸成にもつながる取り組みを実施する本事業の意義は大きいと考えます。</p>
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> ・地域9自治会 ・かながわ福祉移動サービスネットワーク、 （全国福祉移動サービスネットワーク） ・民生委員児童委員協議会 ・地域包括支援センター
その他	<p>「のりあい」は、地域生活交通として公共事業の一部であり、住民自治を育むことは、市と共に、多様な交通の有り様を協働の中で見つけていくことにつながると考えます。運行部分が、事業委託として、サービス事業との形で進められている交通のあり方としても、運行関係者として、利用者でもある市民が事業者と共に同じテーブルで話し合える将来への展望のためにも、市との協働が大事ではないかと考えます。安全・健康にかかわる事業でもあり、市との協働という中で、スムーズに進む事業と言えます。</p>

◆スケジュール

【令和7年度】

実施月	実施内容
年間	・バス事業者で365日運行実施の内、最大で235日の添乗乗車で参画する。土休日は、添乗無しの現状の基本を継続とする。状況による変更も臨機応変に対応、工夫した取り組みを行う。(午前:南北のコース)
毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者動向を、これまで同様に記録分析等、実施する。 ・定例会議:役員会、事務担当連絡会、市との連絡会等 ・地域の集い(状況により検討) ・「のりあい」ニュースの発行
4月下旬	・実績報告会
5月下旬	・地域交流会
7~8月	・地域の夏祭りに参加(自治会、住民との交流)
随時	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ミニ報告交流会、地域福祉団体との交流会等 ・添乗者研修

【令和8年度】

実施月	実施内容
前年同様	前年とほぼ同じ内容で実施

【令和9年度】

実施月	実施内容
前年同様	前年とほぼ同じ内容で実施

◆収支予算書

【令和7年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
繰越金	82,000	
基礎支援金	240,000	自治会支援金 9自治会(120円/2000世帯)
市負担金	800,000	市協働事業負担金
寄付金	30,000	地域交流会・個人
収入合計	1,152,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
運営活動費	140,000	事務・会計・広報通信費
地域活動費	800,000	のりあい環境整備、添乗活動支援(12便/日)
福祉サービス総合保障	16,000	福祉サービス補償、のりあい活動
企画費	40,000	交流会、お楽しみ、自主企画
事務経費	80,000	会場費、通信費、消耗品費等
繰越金	76,000	
支出合計	1,152,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和8年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
繰越金	76,000	前年度繰越金
基礎支援金	240,000	自治会支援金 9自治会 (120円/2000世帯)
市負担金	800,000	市協働事業負担金
寄付金	30,000	地域交流会・個人
収入合計	1,146,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
運営活動費	140,000	事務・会計・広報通信費
地域活動費	800,000	のりあい環境整備、添乗活動支援
福祉サービス総合補償	16,000	福祉サービス総合補償、のりあい活動
企画費	40,000	交流会、お楽しみ、自主企画
事務経費	80,000	会場費、通信費、消耗品費等
繰越金	70,000	
支出合計	1,146,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和9年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
繰越金	70,000	前年度繰越金
基礎支援金	240,000	自治会会費 9自治会(120円/2000世帯)
市負担金	800,000	市協働事業負担金
寄付金	30,000	
収入合計	1,140,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
運営活動費	140,000	事務・会計・広報通信費
地域活動費	800,000	のりあい環境整備、添乗活動支援
福祉サービス総合補償	16,000	福祉サービス総合補償、のりあい活動
企画費	40,000	交流会、お楽しみ、自主企画
事務経費	80,000	会場費、通信費、消耗品費等
繰越金	64,000	
支出合計	1,140,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

<p>団体の名称等</p>	<p>地域と市との協働「のりあい」</p> <p>【代表者の職名・氏名】 代表 滝澤 誠</p>
<p>団体の住所</p>	<p>.....</p>
<p>連絡担当者 及び連絡先</p>	<p>担当者名</p> <p>電 話</p> <p>e-mail</p>
<p>ホームページ (URL)</p>	
<p>設立年月</p>	<p>2008年(平成20年)10月(法人格取得時期 平成 年 月)</p>
<p>設立の目的・ 経緯</p>	<p>■2008(H20)年10月に外出が不便との長年の地域の方々の思いから、自治会有識者等と共に、「乗合バス運行準備会」を立ち上げ、地域生活交通を何とか自分たちで創り空知らせようと動いた。確保しようと動き始めました。</p> <p>■2009(H21)年に、市民提案型として協働事業に申請。2010年4月(平成22年)協働事業として運行開始。 レンタカーで試運行をし、市から10人乗りワゴン車を1台借受け、8月には、「のりあい」表示のリース車となり、「のりあい運行委員会」として、自家用無償運送の位置づけで、平日午前午後各5便ずつの運行を開始しました。2012年(平成24年4月)現在の組織に改組)</p> <p>■外出を支援することで、高齢者が元気になり、乳幼児連れの親も、安心して出かけることができ、車内の人のつながりから、地</p>

5. のりあい運行開始初期の方々の体調等の様子も、気掛かりな様態が伺え、高齢化、外出困難な状態に近い方も増えつつあり、添乗乗車増が、最大の課題となっている。

6. 今後は、今以上に、外部の高齢者対応を主とした専門の方々との交流も会として実施し、サイドからのサポートもお願いしながら、なるべく、外出の機会の継続が可能となる有り様も検討の課題となってきていると感じています。

活動実績：乗車人数

年度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計人数
20/R2	1,091	1,193	1,969	1,985	1,839	1,913	2,060	1,725	1,832	1,416	1,486	1,886	20,395
21/R3	1,526	1,286	1,848	1,818	1,682	1,575	1,701	1,603	1,748	1,421	1,363	1,800	19,371
'22/R4	2,153	2,073	2,256	2,349	2,316	2,259	2,304	2,296	2,413	1,861	1,945	2,222	26,447
23/R5	2,270	2,416	2,530	2,657	2,843	2,716	2,641	2,581	2,676	2,339	2,600	2,656	30,925

'20年4月～'22年4月（コロナ禍で添乗中止、停留所等で見送り・見守り継続）
活動実績：'22年5月 添乗再開—現在に至る（利用の方々も添乗再開を歓迎）

活動実績：添乗の支援活動と乗り残し状況

■令和3年度添乗活動はコロナ禍で中止し、代替活動として「利用者の見守り・見送り・停留所、ルート周辺のクリーン活動」を実施。

★見守り・見送り活動：延べ93人 ★クリーン活動：延べ132人

■令和3年度（2021年4月～2022年3月）お断り：122人

狭い箇所もある路地を走る「のりあい」は、利用者9人乗りの車両のため、乗車をお断りする状況が増加の傾向になりました。

■令和4年度 添乗支援活動人数 373人・添乗延便数 1446便

令和4年度（2022年4月～2023年3月）お断り：171人

出発地点の市役所から4人の方をお断りしています。この年度も、「西鶴間8丁目」から「西鶴間コミセン」まで、二桁のお断りとなりました。

■令和5年度 添乗支援活動延人数 396人・添乗延便数 1562便
 令和5年度（2023年4月～2024年3月）お断り：367人
 出発の「市役所」5人、「市立病院」10人、「いちよう並木」～「西
 鶴間コミセン」は、一停留所が二桁13人～66人の方をお断わり
 する状況でした。

※この間、午前は、南北別のコースや便数増の工夫等検討しながら、市
 と地域のりあいとの意見交換から、運行事業者の相鉄バス（株）、市と
 の調整、地域のりあいも参加の三者による意見交換をしながら、地域
 の方々の外出の足の確保に勤めてきています。

現在も、なるべく多くの方の利用を支えられる「地域のりあい」とし
 て、市・相鉄バス（株）に、地域の状況、声をお伝えし、安全・安心でき
 る外出の足、交流の等、地域のりあいの良さが生かされる方向で、地
 域を考えた活動を、ルートの清掃含め、見守りができる交流の場とな
 ればと願っています。

<p>会員数</p>	<p>「地域のりあい」の当初は、利用者の自主的な登録を実施し、運行コース周辺の6自治会を中心に、会員の登録をしていただいていたが、安定した運行事業となるためにも、事業者による運行委託を市が実施後、関係9自治会が基盤となって、「のりあい」の運行事業の継続を、住民の足、交流の場としても地域に、無くてはならない定着を今後も図りながら、地域全体が会員とを感じる有り様を対象と考えている。（具体的に毎月の運営委員会の参加メンバーと各自治会や地域の市議会議員、民生委員児童委員等の顧問6名、監査2名、添乗等の地域メンバー等が、会員という実態です。</p>			
<p>過去に助成を受けた実績</p>	<p>支給団体名 神奈川ネット</p>	<p>年月 2010年(H22) 1月</p>	<p>金額 ¥150,000</p>	<p>内容 1ヶ月の レンタカー代</p>
<p>協働事業 の実績 ※計測事業の</p>	<p>市担当課名 街づくり総務課</p>	<p>年～年 2018年～ 2019年</p>	<p>負担金 ¥400,000</p>	<p>内容 バス停管理等</p>

場合のみ記載	街づくり総務課	2019年～ 2020年	¥800,000	バス停管理等
	街づくり総務課	2020年～ 2021年	¥800,000	バス停管理等
	街づくり総務課	2021年～ 2022年	¥800,000	バス停管理等
	街づくり総務課	2022年～ 2023年	¥800,000	バス停管理等



第4号様式

令和6年 4 月 30日

令和6年度協働事業提案申請書

大和市長 あて
申請者

団体名 特定非営利活動法人かながわ難民定住援助協会

代表者の職名・氏名 ^{みりがな} 会長・^{さくらい} 櫻井 ひろ子

住 所

連絡先

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つま読み書きの部屋」
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※) () <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



令和6年 4 月11日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会
事業名称	生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ 「つるま読み書きの部屋」
協働したい担当課	文化スポーツ部 国際・男女共同参画課

解決したい課題	多くの外国人市民は系統だった日本語学習の機会に恵まれず、生活の中で日本語を習得するため、聞いたり話したりはできるようになるものの、読んだり書いたりする習得は難しい状況にある。 行政からのお知らせや学校のお知らせ等を読めなかったり、問診票や各種申込などの記入が難しかったり、生活に不利益が出ている。
事業の目的	日本人と外国人学習者が、同じ地域に住む生活者の立場で、さまざまなテーマに対する情報や意見を交換し、お互いの理解を深める。 学習の場を通して、学習者が文字情報を読み取る能力と言語を文章化できる能力を高めることを手助けできる場を作る。
事業の内容	日本での生活経験のある外国籍市民を対象に、生活に役立つテーマを選び、日本語の知識や文化・習慣に対する理解を深めていく場を設ける。 生活の場面で遭遇する様々な日本語の文字情報を読んだり、書いたりして必要な日本語の能力を高めることを目標とした日本語教室「つるま読み書きの部屋」を開催する。 「つるま読み書きの部屋」の授業で使用した各種資料や教案といった成果物は「つるま読み書きの部屋」ホームページを通して広く内外に発信することで事業の継続性と価値を高めていく。
事業実施で得られる成果	かながわ難民定住援助協会と大和市が連携することで、大和地域における日本語支援の環境整備が図られ、外国籍市民の自立に向けた支援をより効果的に行える。 大和市との協働事業であることで、事業の成果を他の団体や県内の自治体にも広く伝えていくことができる。

令和7年度 事業予算	145,000 円(希望市負担金額 100,000 円)
役割分担	<p>【応募者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本語教室の開催(年間 18 回) ● 「生活に役立つ日本語の読み書き」資料収集と教材作成 ● 成果物(教材)のまとめとホームページでの共有 ● 資料検討会の開催(年間 3 回) <p>新規スタッフ研修会の開催(年間 3 回)</p> <p>【市の事業担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催場所の確保 ● 「広報やまと」を通じた講座情報の発信 ● 事業へのアドバイス ● 資料収集と教材作成に関わる費用の補助 ● 資料検討会、スタッフ研修会の開催に関わる費用の補助
市との協働の 必要性	<p>多文化共生社会の実現は大和市の重要な施策の一つである。そのため日本語教室は、単に外国人学習者個人の利益にとどまるだけでなく、日本人市民と外国籍市民の相互理解を深め、多文化共生の地域環境作りに大きく貢献する。</p> <p>一方で外国籍市民の中では日本語を使わずに生活するコミュニティが形成されつつある。外国人の孤立することを防ぎ、社会参加を促すとともに、地域の安定した社会づくりにも貢献できると考えられる。</p> <p>外国籍市民の日本語能力が上がることで、行政上におけるさまざまな手続きがよりスムーズに行われることも期待される。</p>
協力団体	<p>市民活動センター、やまとの力社 (ホームページ開発と運用支援)</p>
その他	<p>[事業に対する市民のニーズ]</p> <p>大和市には 83 カ国にルーツを持つ約 8,123 人(2024 年 2 月 29 日時点)の外国籍の方が住民登録をしています。大和市民の約 30 人に 1 人が外国人市民で、市民に占める割合は神奈川県下 6 位です。</p> <p>外国籍市民は働きながら日本語を獲得している方が大半で、「話す・聞く」能力はそこそこになるものの、「読む・書く」能力は高くなく、学校からのお知らせや公共からのお知らせを読んで返事をするには助けを必要とし、容易ではありません。</p> <p>本事業の「つま読み書きの部屋」では「読む・書く」を中心にした日本の文化や習慣の講座を開設して、外国籍市民の「読む・書く」ことのニーズに応えてきました。</p>

	<p>[協働事業として継続する必要性]</p> <p>行政からの助言で教室活動の向上が図れました。 また、助成金や教室の確保・学習者募集の広報などを担っていただき、ボランティア講師が授業作りに集中できより良い講座を開くことができます。</p>
--	---

◆スケジュール

【令和7年度】

実施月	実施内容
4月	協働事業報告会
5月～7月	第1期資料検討会（1回） 第1期講座（夜講座3回、昼講座3回）
9月	新しい人材確保のための研修講座（3回）
10月～12月	第2期資料検討会（1回） 第2期講座（夜講座3回、昼講座3回）
1月～3月	第3期資料検討会（1回） 第3期講座（夜講座3回、昼講座3回）
3月	年間総括/決算 調整会議

【令和8年度】

実施月	実施内容
4月	協働事業報告会
5月～7月	第1期資料検討会（1回） 第1期講座（夜講座3回、昼講座3回）
9月	新しい人材確保のための研修講座（3回）
10月～12月	第2期資料検討会（1回） 第2期講座（夜講座3回、昼講座3回）
1月～3月	第3期資料検討会（1回） 第3期講座（夜講座3回、昼講座3回）
3月	年間総括/決算 調整会議

【令和9年度】

実施月	実施内容
4月	協働事業報告会
5月～7月	第1期資料検討会（1回） 第1期講座（夜講座3回、昼講座3回）
9月	新しい人材確保のための研修講座（3回）
10月～12月	第2期資料検討会（1回） 第2期講座（夜講座3回、昼講座3回）
1月～3月	第3期資料検討会（1回） 第3期講座（夜講座3回、昼講座3回）
3月	年間総括/決算 調整会議

◆収支予算書

【令和7年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
受講料	35,000	講座受講料
大和市助成金	100,000	
かながわ難民定住 援助協会	10,000	
収入合計	145,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
研修費	5,000	外部研修参加費
交通費	50,000	ボランティア5人
教材費・印刷費	50,000	日本語教材、資料収集、コピー
消耗品費	35,000	インクカートリッジ、文具類
通信・運搬費	5,000	切手、はがき、電話、チラシ郵送
支出合計	145,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和8年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
受講料	35,000	講座受講料
大和市助成金	100,000	
かながわ難民定住 援助協会	10,000	
収入合計	145,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
研修費	5,000	外部研修参加費
交通費	50,000	ボランティア5人
教材費・印刷費	50,000	日本語教材、資料収集、コピー
消耗品費	35,000	インクカートリッジ、文具類
通信・運搬費	5,000	切手、はがき、電話、チラシ郵送
支出合計	145,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和9年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
受講料	35,000	講座受講料
大和市助成金	100,000	
かながわ難民定住 援助協会	10,000	
収入合計	145,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
研修費	5,000	外部研修参加費
交通費	50,000	ボランティア5人
教材費・印刷費	50,000	日本語教材、資料収集、コピー
消耗品費	35,000	インクカートリッジ、文具類
通信・運搬費	5,000	切手、はがき、電話、チラシ郵送
支出合計	145,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

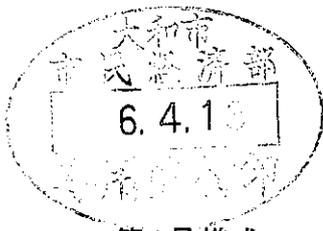
※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

団体の名称等	特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会 【代表者の職名・氏名】 ^{ふりがな} 会長・ ^{きくいひろこ} 櫻井ひろ子
団体の住所	
連絡担当者 及び連絡先	^{ふりがな} 担当者名 電 話 e-mail 住 所
ホームページ (URL)	http://www.enjokyokai.org/
設立年月	昭和61年12月（法人格取得時期：平成13年4月）
設立の目的・ 経緯	【目的】 神奈川県内及び近隣に定住しているカンボジア、ラオス、ベトナムのインドシナ難民定住者を主とする外国人定住者を対象に、自発性、奉仕性、無償性を踏まえ、政治、宗教、思想に偏ることのないボランティア活動で彼らの自立に繋がる事業を行い、地域社会に寄与する。 【設立の経緯】 インドシナ難民定住者のアフターケアの機関として公益財団法人アジア福祉教育財団（前財団法人）・難民事業本部と大和定住促進センターが組織を作り、神奈川県明るい社会づくり運動連絡協議会より同上センターへの寄付金を資金として設立に至る。
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 (活動地域：)

<p>活動内容と 活動実績</p>	<p>①日本語ボランティア教室 地域定住での生活情報の収集に必要な日本語でのコミュニケーション能力を高めるための日本語教室を開催。 教室数＝19、受講者数＝延8,000名／年、</p> <p>②学習室 定住者子弟の小・中・高校生を対象に5教科の補習や作文論文の書き方、テスト対策、宿題などへの対応や相談。</p> <p>③親子の日本語教室 近隣の小学校2校と中学校1校と連携して、日本語の読み書きに必要な日本語を体系的に指導。(年間30回不定期) 教室数＝4、受講者数＝延1,500名</p> <p>④日本語ボランティア養成講座 日本語ボランティアの基礎知識を学び、共通認識を養いながら仲間作りを目指し開催。</p> <p>⑤法律相談 ベトナム・カンボジア・ラオス人の通訳付きで弁護士による法律相談会を開催。(月1回)</p> <p>⑥生活相談 定住者に入管、職安、市区町村窓口、学校、病院への付き添いや県営住宅の入居手続きの書類の作成などの依頼や相談とそれに即したサポート。</p> <p>⑦イベント活動 学生とインドシナ難民との文化交流。料理教室などの開催。</p> <p>⑧広報活動 関係各機関と会員向け広報紙「ゆうあい」発行。 ベトナム・ラオス・カンボジアの定住者向けの対訳付き情報紙「つうしん」発行。HPを随時更新。</p> <p>⑨人材紹介 通訳・翻訳者や他団体の講演・研修等での講師の紹介。</p>			
<p>会員数</p>	<p>110人</p>			
<p>過去に助成を受けた実績</p>	<p>支給団体名 社会福祉法人 大和市社会福祉 協議会</p>	<p>年月 令和2年4月</p>	<p>金額 50,000</p>	<p>内容 助成金</p>

	社会福祉法人 大和市社会福祉 協議会	令和3年4月	50,000	助成金
	社会福祉法人 大和市社会福祉 協議会	令和4年4月	50,000	助成金
	社会福祉法人 大和市社会福祉 協議会	令和5年4月	50,000	助成金
協働事業 の実績 ※継続事業の 場合のみ記載	市担当課名	年～年	負担金	内容
	国際・男女共同 参画課	平成22年～ 平成24年	22年 100,000	協働事業 負担金
			23年 100,000	
			24年 100,000	
	国際・男女共同 参画課	平成25年～ 平成27年	25年 100,000	協働事業 負担金
			26年 100,000	
			27年 100,000	
	国際・男女共同 参画課	平成28年～ 平成30年	28年 100,000	協働事業 負担金
			29年 100,000	
			30年 100,000	
	国際・男女共同 参画課	令和1年～ 令和3年	1年 100,000	協働事業 負担金
			2年 60,000	
3年 100,000				
国際・男女共同 参画課	令和4年～ 令和6年	4年 100,000	協働事業 負担金	
		5年 100,000		
		6年 100,000		



第1号様式

2024年 4月 1日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	渋谷きんりん未来の会
事業名称	地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業
協働したい担当課	図書・学び交流課

解決したい課題	<p>地域の高齢化や外国人居住者が多い点など、大和市南部地域特有の課題を解決する為、大和市立渋谷中学校の学校開放を利用した下和田地区児童の居場所づくりや、高齢者の方々の健康維持など、市民活動の活性化などを通じ地域課題の改善に貢献したい。</p>
事業の目的	<p>新しい公共の創造に寄与し、大和市立渋谷中学校の生徒のみならず、地域住民の生涯学習を推進し、市民の交流できる居場所として渋谷中学校との連携のもと、活力ある住みよい地域となることを目的とした学校開放を推進し、「地域に根ざし、地域の未来を担う学校づくり」を実現することを目的とします。</p>
事業の内容	<p>(1) 会議室、特別教室の市民への貸し出しなどを通じた市民活動の活性化事業 これまでの実績から得た利用者のニーズを基に、広く団体や個人の利用を促すよう積極的に取り組み、より良い地域活動の活性化を目指します。</p> <p>(2) 地域ニーズに基づいた生涯学習の推進支援事業 地域住民の生涯学習の推進、又、交流の場となる活動及び支援を行います。 地域の諸団体との協力を基本として活動を推進します。</p> <p>(3) 下和田地区の児童館機能、子どもや保育者、中高生、高齢者などの居場所としての事業 対象者を、親子、小学生、中高生、高齢者などに大きく分け、地域の人々の憩いの場、学びの場として日々充実活動できる場を提供していきます。 更に、閉校した元下和田小学校の思い出を伝えていきます。</p> <p>(4) 伝統文化・国際交流・環境配慮等に関するイベント企画等 ①日本の伝統文化を伝えるため、地域の方の協力のもとに事業を行います。</p>

	<p>(5) 情報発信事業 活動のホームページの充実。 地域への回覧による情報紙『下和田の郷通信』の発行 小学生向けに各月の『行事のお知らせ』を発行 タウン誌等に情報提供 シリウスでの活動紹介事業</p>
事業実施で得られる成果	<p>新しい公共の具体的な姿を体現し、「地域に根ざし、地域の未来を担う学校づくり」という行政のねらいの一端を具現化している点で効果があります。</p>
令和7年度事業予算	<p>¥6,751,163円(希望市負担金額 ¥6,703,863円)</p>
役割分担	<p>【応募者】 大和市立渋谷中学校学校開放の推進に必要な事項を実施し、地域との連携を深める活動を通じて、地域のための学校開放事業を向上させていくこと</p>
	<p>【市の事業担当課】 事業に必要な経費の負担、事業企画等への助言 学校開放業務に伴う各種消耗品等の補充 広報掲載・PR等の支援</p>
市との協働の必要性	<p>事業の広報や各協力団体との連携や講師の紹介など市との協働によりスムーズに行え、施設のPRにもなっている。 設備管理上必要な備品や清掃用具・消耗品の提供など。</p>
協力団体	<p>地域自治会、地区社協、地区民児協 大和市国際化協会 栄養士みつわ会 大和市立渋谷中学校 大和市立渋谷小学校 施設利用団体</p>

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は他の NPO や市民活動団体との連携をさらに検討し活動の幅を広げていきたい。 ・ 下和田地区の児童館機能として子どもたちの遊び場になっている、さらに地域で遊ぶ場がない子や、障害のある子などが安心できる居場所にもなっている。 ・ 協働として継続していくことで、事業担当課からのアドバイスや講師の紹介・手配などがスムーズにおこなえる。また今後は防災対策などにも力をいれスタッフや市民が安心して利用できる居場所事業を展開していきたいと考えている。
------------	---

◆スケジュール

【令和7年度】

実施月	実施内容
毎月1回	市民向けPC相談会
毎週土曜	Sat. チャレンジルーム（学習支援事業）
年数回	アレンジフラワー・おたのしみ工作・かき氷・ポップコーン ウクレレ教室・布わらじ作り・押し花教室 高齢者または介護者向けの支援事業
随時	手芸・工作・国際・環境・居場所づくりなど地域の皆さんや利用者へのアンケートを通じて必要な事業を追加し開催
その他	防災対策の検討会

【令和8年度】

実施月	実施内容
毎月1回	市民向けPC・スマホ相談会（スタッフのスマホ勉強会等）
毎週土曜	Sat. チャレンジルーム（学習支援事業） ※前年度の課題を受けて参加者の拡大及び内容の改善 （ボランティア講師の人数増など）
年数回	高齢者または介護者向けの支援事業 ※回数や人数の拡張及び内容の改善 アレンジフラワー・おたのしみ工作 ウクレレ教室・布わらじ作り・押し花教室
随時	手芸・工作・国際・環境・居場所づくりなど地域の皆さんや利用者へのアンケートを通じて必要な事業を追加し開催
その他	防災対策事業・研修

【令和9年度】

実施月	実施内容
毎月1回	市民向けPC相談会 市民向けスマホ相談会 高齢者または介護者向けの支援事業（※） ※回数や人数の拡張及び内容の改善
毎週土曜	Sat. チャレンジルーム（学習支援事業） ※前年度の課題を受けて参加者の拡大及び内容の改善
年数回	アレンジフラワー・おたのしみ工作 ウクレレ教室・布わらじ作り・押し花教室
随時	手芸・工作・国際・環境など地域の皆さんや利用者へのアンケートを通じて必要な事業を発展させ活動の充実を図り、地域の居場所として充実させる
その他	防災対策事業（他のNPOなどと協力）

◆収支予算書

【令和7年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	¥ 6,703,863	協働事業負担金(人件費・事業費)
参加費	¥ 47,300	事業参加費(材料費) 7事業(11回)料理教室・さき織り教室
収入合計	¥ 6,751,163	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	¥ 6,247,720	年間開放日数(336日) ①9:45~17:15(2人体制) 2274.55H*2人*1200円(県最低賃金)=5,458,920円 ②事業実施 405.0H*1人*1200円=486,000円 ③施設管理日(会議) 12H*10人*1200円=144,000円 ④新規スタッフ教育費(いない場合戻入) 10H*2人*1200円=24,000円 ⑤交通費 134,800円
労災保険料	¥ 18,743	¥ 6,247,720*(3/1000)
事業費	¥ 293,900	
謝礼	¥ 149,500	6事業(1H)1500円*73H*1名=109,500円 1事業 10,000円(4H*4人)*4回=40,000円
事務管理費	¥ 26,400	銀行手数料 2,200円*12カ月=26,400円
消耗品費	¥ 10,000	
通信費	¥ 4,900	
支出合計	¥ 6,751,163	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和8年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	¥ 6,959,332	令和7年と同じ
参加費	¥ 47,300	
収入合計	¥ 7,006,632	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	¥ 6,502,425	年間開放日数 (336日) ①9:45~17:15 (2人体制) 2274.55H*2人*1250円 (県最低賃金) =5,686,375円 ②事業実施 405.0H*1人*1250円=506,250円 ③施設管理日 (会議) 12H*10人*1250円=150,000円 ④新規スタッフ教育費 (いない場合戻入) 10H*2人*1250円=25,000円 ⑤交通費 134,800円
労災保険料	¥ 19,507	令和7年と同じ
事業費	¥ 293,900	
謝礼	¥ 149,500	
事務管理費	¥ 26,400	
消耗品費	¥ 10,000	
通信費	¥ 4,900	
支出合計	¥ 7,006,632	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和9年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	¥ 7,214,801	令和7年と同じ
参加費	¥ 47,300	
収入合計	¥ 7,262,101	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	¥ 6,757,130	年間開放日数(336日) ①9:45~17:15(2人体制) 2274.55H*2人*1300円(県最低賃金)=5,913,830円 ②事業実施405.0H*1人*1300円=526,500円 ③施設管理日(会議)12H*10人*1300円=156,000円 ④新規スタッフ教育費(いない場合戻入) 10H*2人*1300円=26,000円 ⑤交通費134,800円
労災保険料	¥ 20,271	令和7年と同じ
事業費	¥ 293,900	
謝礼	¥ 149,500	
事務管理費	¥ 26,400	
消耗品費	¥ 10,000	
通信費	¥ 4,900	
支出合計	¥ 7,262,101	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

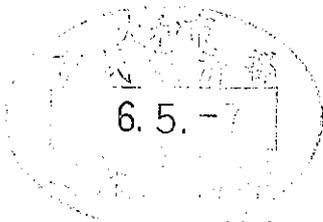
自己紹介シート

<p>団体の名称等</p>	<p>渋谷きんりん未来の会 【代表者の職名・^{フリガナ}氏名】代表 おおつ まさこ 大津 雅子</p>
<p>団体の住所</p>	<p>..... </p>
<p>連絡担当者 及び連絡先</p>	<p>^{フリガナ} 担当者名 電 話 e-mail 住 所</p>
<p>ホームページ</p>	<p>http://shimowadanosato.sakura.ne.jp/</p>
<p>設立年月</p>	<p>平成 16年 5月(法人格取得時期 平成/令和 年 月)</p>
<p>設立の目的・ 経緯</p>	<p>大和市南部の区画整理事業に伴い、平成16年4月に新築移転した渋谷中学校に併設された渋谷中学校学校開放スペースの運営を担い、「新しい公共の創造」という理念が学校を中心に具体化するモデル」となる場をつくりあげ、市民の支え合いを通じ、広く地域の発展に貢献することを目的とします。また、新渋谷中学校の学校開放スペースは、従来の社会教育的地域交流機能に加え、子ども同士の支えあいや、国際交流、環境教育等において充実したソフトや機材、人的ネットワークを擁し、学校教育を地域が支えるモデル事業の実践の場としての機能を付加します。このために必要な、ソフト、設備、機材などを地域、家庭、専門家、教育委員会、行政が持てる力を出し合い計画をつくり、実践していくことを目的とします。</p>

<p>主な活動地域</p>	<p>■ 大和市内を中心に活動</p> <p>□ 市外を中心に活動</p> <p>(活動地域:)</p>
<p>活動内容と 活動実績</p>	<p>1.会議室、特別教室の市民への貸し出しなどを通じた市民活動の活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館業務一受付、管理、来館者支援、清掃 ・図書・学び課(学び交流係、渋谷学習センター)、管理運営委員会、小・中学校、との連絡調整 <p>2.地域ニーズに基づいた生涯学習の推進支援事業</p> <p>【情報事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCなんでも相談室「地域の方」 ・テゾ列カワト(PCで遊ぼう) <p>【花育事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレンジフラワー ・育てた植物を利用した工作 <p>【成人・シニア向け事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者向けフラダンス体験「村山利子さん」 ・初心者向けウクレレ「木村三郎さん」 ・押し花教室「西村ひみ子さん」 ・習字教室「真田静香さん」 ・織り輪「林 玲子さん」 ・ポリトガル刺繍「増田百合子さん」 ・藤で編むマスコット帽子作り <p>【調理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の料理教室「みつわ会」 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生との企画による事業 ・災害時の緊急一時避難場所として大和市や渋谷中学校と連携した地域への貢献 ・事業実施後の自主サークル活動への支援、ネットワーク化 ・スタッフ研修 <p>3.下和田地区の児童館機能、子どもや保育者、中高生、一般などの居場所としての事業</p> <p>【読書活動推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書業務(寄贈図書管理・整理) <p>【レクリエーション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道場で遊ぼう ・スクリーンを使って ・かるた大会とおしるこ食べよう

	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り 【ディスプレイ事業】 ・季節に合わせた館内ディスプレイ ・カレンダー作り 【学習事業】 ・書き初め教室「真田 静香さん」 ・チャレンジルーム（学習支援）「中山耕造 先生」 【工作、手芸事業】 ・おたのしみ工作「岩倉 史子さん」 【その他】 ・展示物などで下和田小学校の思い出を伝える <p>4.伝統文化・国際交流・環境配慮等に関するイベント企画等</p> <ul style="list-style-type: none"> 【伝統文化事業】 ・わらじ作り ・さき織り体験「林玲子さん」 【国際交流事業】 ・物作りを通じたつながりと、情報交換の場作り・関係者の話し合いの場作り ・「下和田の郷通信」事業の翻訳 【環境事業】 ・リサイクル工作 ・省エネ対策としてのグリーンカーテン作り ・地域の環境美化協力 【その他】 ・場としての活用に関する情報提供 ・スポーツの普及事業 <p>5.情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動紹介のホームページの充実 ・中学校区地域への情報誌『下和田の郷通信』の発行 ・小学校へ配布の『行事のお知らせ』の発行 ・タウン紙等に情報提供
<p>会員数</p>	<p>.....17人</p>

過去に助成を受けた実績	支給団体名	年月	金額	内容
	神奈川子ども未来ファンド	2007年4月	327,435円	講演会・スタッフ研修費用
	イオン黄色いシートプログラム	2014年4月	1,2900円	消耗品費用
		2015年4月	2,7500円	
		2016年4月	8100円	
		2017年4月	1,9600円	
		2018年4月	2,1600円	
		2019年4月	2,5300円	
		2020年4月	16,700円	
		2021年4月	15,700円	
2022年4月		18,600円		
2023年4月	18,800円			
協働事業の実績 ※継続事業の場合のみ記載	市担当課名	年～年	負担金	内容
	生涯学習センター	2004年～2006年	5,136,455円	
			6,812,640円	
			6,812,640円	
	生涯学習センター	2007年～2009年	7,083,868円	
			7,512,784円	
			7,512,473円	
	生涯学習センター	2010年～2012年	7,551,565円	
			7,731,387円	
			7,804,346円	
	生涯学習センター	2013年～2015年	7,827,184円	
			8,011,354円	
			8,124,688円	
	生涯学習センター	2016年～2018年	8,240,592円	
			8,439,701円	
8,658,847円				
図書・学び交流課 学び交流担当	2019年～2021年	8,911,564円		
		9,064,119円		
		8,665,461円		
図書・学び交流課 学び交流担当	2022年～2024年	4,954,110円		
		5,096,262円		
		6,254,126円		



第4号様式

令和6年4月13日

令和6年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 （特非）ワーカーズ・コレクティブケアびーくる

代表者の職名・氏名 ^{かりがな} 理事長・奥平 ^{おくだいら} ^{ますみ} ます美

住 所 _____
連絡先 _____

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	移動制約者の外出介助サービス事業
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※) (第26回通常総会議案書 ケアびーくる通信他) <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



令和6年4月13日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	(特非) ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる
事業名称	移動制約者のための外出介助サービス事業
協働したい担当課	障がい福祉課

解決したい課題	<p>介助付き移動サービスの活動実態の理解を行政や市民に深めてもらう。</p> <p>メンバーの拡充、世代交代。</p> <p>会所有の4台の福祉車のうち、古くなったものの更新。</p>
事業の目的	<p>一人では公共の交通機関を使えない障がい児・者や高齢者などの移動制約者が、外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進が図られることを目的とする。(道路運送法第79条および施行規則第49条第3号にもとづく福祉有償運送の位置づけ。)</p>
事業の内容	<p>会員登録をした障がい児・者や高齢者等を対象に、車両を使った「介助付の移動支援サービス」を実施。利用者や家族の依頼に応じて、ドア・ツー・ドアはもとより、ベッド・ツー・ベッドでの移動も行う。(外出先でのトイレ介助、複数体制での段差などの対応。診察時の医師の話を家族やケアマネに伝える等、内容は様々である。)</p> <p>利用例：通院、入退院・転院、通学・通所、買物、墓参、食事、お花見や紅葉狩り、旅行、冠婚葬祭など。</p> <p>会所有：車いす対応車(4台)、車いす、フルリクライニング車いす、ストレッチャー、段差対応携帯用スロープ</p> <p>会員所有：登録車両(14台)</p>
事業実施で得られる成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自力で移動することが困難になっても、住み慣れたまちや家で自分らしく暮らせる。行きたいときに行けることによって生活の質を保ち生きる喜びを実感できる。 ・外出はもっとも有効な介護予防と言われている。生活に張りを持たせ生きる意欲を喚起する効果がある。心と体の健康を増進させるために有効な手段である。 ・利用者の家族の代わりにすることで、家族のレスパイトになる。家族が社会から孤立することや介護離職を防ぐことができる。 ・相互扶助の精神で行うことにより、ニーズに添った外出をより安価に実現することができる。

令和7年度 事業予算	13,790,000 円 （希望市負担金額 200,000 円）
役割分担	<p>【応募者】</p> <p>大和市の移動制約者のための外出介助サービス事業 相互扶助精神で「誰でも・いつでも・どこにでも」出かけられる社会を目指して活動する。</p>
	<p>【市の事業担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報誌などを利用した広報活動 ・事業に必要な車両の駐車場の確保など ・市主催の運転者講習会の実施 ・協働事業負担金 ・その他協働事業として必要と認められるもの
市との協働の 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送法に係る制度改正等により、市は、それまで実施していた「ハンディキャブ運行事業」を平成 17 年に廃止し、市内で制度登録を受けた団体に協力要請があった。 ・移動制約のある高齢者・障がい者・生活困窮者の外出をサポートすることにより、適切に医療に繋げることができる。また、人が精神の健康を保つためには、月 7 回以上の外出が必要という研究調査もある。 ・移動に制約のある生活困窮者の通院・通所などの際に発生する経済的負担をできる限り低く抑える必要がある。 ・移動に制約のある高齢者・障がい者等が気軽に外出することによって消費を促し、地域経済の活性化を図ることができる。 ・福祉車両 4 台の維持管理は経営上大きな負担がかかる。市の負担金と福祉車の駐車場所、車いすなどの保管場所の提供がないと事業の継続は難しい。 ・市の広報によって、外出介助サービスが周知できる。 ・市主催の運転者講習会により、新たな担い手の発掘が期待できる。 ・協働することにより、適切な料金で移動困難な方々の社会参加を促進することができる。
協力団体	
その他	<p><事業に対する市民のニーズ>※社会経済環境が変化するなかでの現在の市民ニーズ></p> <p>過去 3 年間の利用状況を見ても、1 年間の利用回数、利用者延べ人数(利用総件数)、実利用者人数のいずれも増加している。独居や高齢者のみの世帯など、また、抗がん治療やひきこもりだった方の久々の外出など手厚い支援を必要とする利用者が増えている。ケアマネジャーや地域包括支援センター、市の関連部署などとの連</p>

絡を密に取りサービスを進めている。このような活動に対するニーズは益々増加していると言える。
また、最近では、タクシーがつかまらない、タクシーの予約ができないという理由で新たに利用会員になられる方も増えている。

	利用総回数 (回)	利用者延べ人(人) 利用総件数 (件)	利用者実数 (人)
2021年度	6,213	3,939	284
2022年度	6,337	4,126	292
2023年度	6,604	4,266	376

<「協働事業として継続する必要性」※なぜ、協働事業という形式で継続する必要があると考えるか>

上欄7項目目にも記載したが、

- ・福祉車両4台の維持管理等については、市の負担金と福祉車の駐車場所、車いすなどの保管場所の提供がないと事業の継続は難しい。
- ・協働することにより、適切な料金で移動困難な方々の社会参加を促進することができているといえる。
- ・令和6年度から始まる市主催の運転者講習会により、新たな担い手の発掘が期待できる。募集の詳細などについても連携して知恵を出しながら進めることができるのではないかと。
- ・市の広報によって、外出介助サービスが周知できる。
- ・外出介助サービスをとおして、既存の制度の狭間にある市民に目を向け、孤立やフレイル状態から安全な日常生活にもどすことは、一事業者ではなく、協働事業として共に取り組み続ける必要がある。

以上、協働事業であればこそ実現できている活動であると捉えている。

◆スケジュール

【令和7年度】

実施月	実施内容
通年	移動制約者の外出介助サービス 活動を広くPRするための取組 (担い手の拡大、利用会員の拡大) 会の経営安定のため助成事業への応募

【令和8年度】

実施月	実施内容
通年	移動制約者の外出介助サービス 活動を広くPRするための取組 (担い手の拡大、利用会員の拡大) 会の経営安定のため助成事業への応募

【令和9年度】

実施月	実施内容
通年	移動制約者の外出介助サービス 活動を広くPRするための取組 (担い手の拡大、利用会員の拡大) 会の経営安定のため助成事業への応募

◆収支予算書

【令和7年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
会費収入	340,000	入会 100 名、継続会員 160 名
事業収入	9,450,000	
車両運行収入	3,500,000	運送の対価
寄付金・助成金等	300,000	県共同募金・市社協助成金・寄付金
市負担金	200,000	車両維持費の一部として
収入合計	13,790,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	9,390,000	令和 5 年度ベース
車両維持管理費	2,200,000	燃料費・車両維持費(車検 4 台)
保険料	350,000	自動車保険・全社協福祉サービス補償
その他事業に必要な経費	1,050,000	
税金	800,000	法人税・市県民税・消費税
	以下余白	
支出合計	13,790,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

◆収支予算書

【令和8年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
会費収入	340,000	入会 100 名、継続会員 160 名
事業収入	9,450,000	
車両運行収入	3,500,000	運送の対価
寄付金・助成金等	300,000	県共同募金・市社協助成金・寄付金
市負担金	200,000	車両維持費の一部として
収入合計	13,790,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	9,390,000	
車両維持管理費	2,200,000	燃料費・車両維持費(車検 4 台)
保険料	350,000	自動車保険・全社協福祉サービス補償
その他事業に必要な経費	1,050,000	
税金	800,000	法人税・市県民税・消費税
	以下余白	
支出合計	13,790,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

◆収支予算書

【令和9年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
会費収入	340,000	入会 100 名、継続会員 160 名
事業収入	9,450,000	
車両運行収入	3,500,000	運送の対価
寄付金・助成金等	300,000	県共同募金・市社協助成金・寄付金
市負担金	200,000	車両維持費の一部として
収入合計	13,790,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	9,390,000	
車両維持管理費	2,200,000	燃料費・車両維持費(車検 4 台)
保険料	350,000	自動車保険・全社協福祉サービス補償
その他事業に必要な経費	1,050,000	
税金	800,000	法人税・市県民税・消費税
	以下余白	
支出合計	13,790,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

団体の名称等	特定非活動法人 ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる 【代表者の職名・氏名】 ^{ふりがな} 興平 ^{おくだいら} ます美 (理事長)
団体の住所
連絡担当者及び連絡先	^{ふりがな} 担当者名 電 話 e-mail 住 所
ホームページ	http:// care-vehicle.org/
設立年月	平成 10 年 5 月 (法人格取得時期 平成 11 年 9 月)
設立の目的・経緯	【設立の目的】 一人では公共の交通機関を使えない障がい児・者や高齢者などの移動制約者の外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進が図られることをめざす。現在は、道路運送法 79 条および施行規則第 49 条第 3 号にもとづく福祉有償運送の位置づけである。 【設立の経緯】 市内で活動している家事介護の非営利団体から、車両を使う外出介助サービスの需要が増え始めている(ニーズが顕在化している)という課題提起があった。当時、市は2台のハンディキャブで送迎事業を行っていたが、①登録者 500 人 ②2 か月前から予約が必要 ③通院目的に限定 ④土日祝日、早朝夜間は使用不可などの制約により「使いにくい・使えない」という声も多く聞いた。また、福祉タクシーの営業所が市内に無く、少しの移動でも車庫発着の高額な料金が発生していた。そこで、地域で生活する市民がお互い様の助け合いの中で外出介助サービスを生み出せないかと、有志が集まり呼びかけ人会を作り、出資し・労働・経営するスタイル(ワーカーズ・コレクティブ)で、「ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる」を立ち上げた。
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 (活動地域 :)

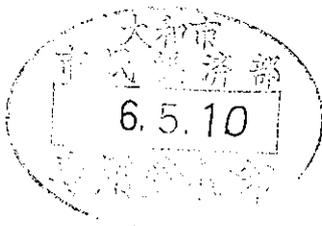
活動内容 と 活動実績	<p>福祉車両 4 台と会員提供の登録車両 14 台を使い、障がい児・者、高齢者などの移動制約者の外出介助サービス事業を行い、相互扶助の精神で市民参加の福祉のまちづくりを推進し、「福祉有償運送」による不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与している。</p> <p>2023 年度の実績としては、実利用人数で 376 名に、トリップ数で 6,640 件の移動サービスを提供した。</p> <p>1 年、365 日対応している。</p>
-------------------	--

会員数 29 人 (活動に関わっている会員)
-----	--------------------------

	支給団体名	年 月	金 額	内 容
過去 に助 成を 受け た実 績	日本財団	1999 年 11 月		キャラバン
	日本財団	2002 年 2 月	2,100,000	マツダデミオ
	大和市	2004 年 3 月		セレナ貸与
	日本財団	2004 年 3 月	3,310,000	ハイエース
	日本財団	2006 年 2 月	2,89,000	キャラバン
	W. Co 基金	2015 年 12 月	50,000	企画ツアーの広報費
	日揮社会福祉事業団	2016 年 3 月	180,000	冬タイヤ (2 台分) 購入
	福祉たすけあい基金	2016 年 6 月	280,000	車検費用の一部
	日本財団	2017 年 2 月	2,100,000	キャラバン
	かながわ土地建物保全協会	2017 年 4 月	350,000	運営費の補助として
	麒麟福祉財団	2017 年 4 月	70,000	広報費の一部として
	日揮社会福祉事業団	2018 年 3 月	100,000	車検費用の一部
	かながわ土地建物保全協会	2018 年 4 月	350,000	運営費の補助として
	日本財団	2019 年 2 月		N-BOX
	かながわ土地建物保全協会	2019 年 4 月	350,000	運営費の補助として
	W. Co 基金	2019 年 11 月	75,000	会計用 PC 購入
	かながわ生き生き市民基金	2020 年 10 月	100,000	車両整備費の一部

W. Co 基金	2021年2月	200,000	307禍、感染防止対策
W. Co 支援がバ 金助成	2021年3月	200,000	307禍、運営費補助
日本財団	2022年3月		キャラバン
太陽生命厚生財団	2022年10月	200,000	スマートレスト オールシーズンタイヤ
神奈川県福祉輸送事業者 燃料費価格高騰等支援金	2023年2月	168,000	燃料費
大和市原油価格高騰対策 中小企業支援給付金	2023年3月	200,000	燃料費
かながわ土地建物保全協会	2023年4月	350,000	運営費補助として
大和市障がい福祉施設等 物価高騰対策支援金	2023年11月 2024年3月	80,000	燃料費
日揮社会福祉事業団	2023年12月	70,030	フルリクライニング車いす

協働事業 の実績 ※継続事業 の場合のみ 記載	市担当課名	年～年	負担金	内容
	障害福祉課		2004年～ 2006年	200,000
200,000				
200,000				
障害福祉課		2007年～ 2009年	177,776	
			177,776	
			177,776	
障害福祉課		2010年～ 2012年	177,776	
			177,776	
			177,776	
障害福祉課		2013年～ 2015年	177,776	
			177,776	
			177,776	
障がい福祉課		2016年～ 2018年	177,776	
			177,776	
			177,776	
障がい福祉課		2019年～ 2021年	177,776	
			177,776	
			177,776	
障がい福祉課		2022年～ 2024年	177,776	
			177,776	
			177,776	



第4号様式

6年 4月 11日

令和6年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 NPO 法人 大和市腎友会

代表者の職名・氏名 会長 藤本 曜久

住 所 _____

連絡先 _____

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	障がい者・高齢者のための「外出介助サービス」事業
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※)(会報 やまとじんゆう) <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	--

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



第1号様式

令和6年 4月 11日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	NPO法人 大和市腎友会
事業名称	障がい者・高齢者のための「外出介助サービス」事業
協働したい担当課	障がい福祉課

解決したい課題	日々の買い物から通院、お出掛けまで、障がい・高齢者の日常生活の多くに、送迎の問題が付きまといまいます。移動手段の整備・確保が、高齢者の在宅での生活を支え、地域の持続可能性を維持するために喫緊の課題です。移動は、障がい・高齢者の「在宅限界点」を上げるための鍵だと言えます。
事業の目的	いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために「移動・外出」は欠かせない要素です。大和市地域に居住する障がい者や高齢者で公共交通機関を使用して移動することが困難な方を対象に、通院、通所等の目的に行う福祉車両等による外出介助サービスを提供し、福祉の増進を図ります。
事業の内容	国土交通省の承認を得た有償の移送サービスです。障がいや高齢のため、単独では公共交通機関の利用が困難な方々の外出を支援するための移動手段として比較的安価な交通手段となります。利用目的に制限はなく、通院以外の買物や銀行、役所、墓参、レジャー等々、あらゆるシーンでご利用いただけます。ただし、タクシーのように急な需要への対応はできず、事前に利用登録が必要です。
事業実施で得られる成果	大和市内においては公共交通機関がある程度、整備されています。しかし、障がい・高齢者の中には、バス停まで歩くことが難しかったり、乗り降りに手助けが必要だったりするなど、公共交通の利用が難しい方も一定数、存在しています。公共交通の隙間を埋める補完的な移送サービスがあることで、買物や通院などに行ける環境が整うことによる地域で暮らし続けられるという安心感、社会参加等の活発化により「健康寿命の延伸」「一人ひとりの幸福度の向上」につながる可能性が高いといえます。

令和7年度 事業予算	2,777,776円(希望市負担金額177,776円)
役割分担	【応募者】 ①事業の継続実施 ②事業計画・事業報告
	【市の事業担当課】 ①市ホームページ、広報やまを通じた広報活動 ②保健福祉センター、市役所本庁舎の駐車場の確保 ③協働事業負担金
市との協働の 必要性	①「社会的認知」 対外的に、行政との協働事業を前面に出すことにより、活動内容が公に認められ、社会的理解や評価が高まるとともに、法人単独で実施するよりも、さらに市民のニーズに対応した、充実したサービスを提供できる効果が見込まれます。 ②「事業の継続」 事業の目的、役割分担、経費負担などを取り決めた協定書を取り交わして事業を行うため、安定した関係の下で、比較的期間の長い事業の実施に効果的ではないかと思えます。
協力団体	認定 NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
その他	市民のライフスタイルや価値観の多様化が進み、行政による公平で均質的な公共サービスでは対応できないニーズが増えました。一方で、障がい・高齢者のケア等について、地域や家庭のあり方が変容したため担いきれなくなり、公共サービスとして支えることも必要になってきています。 今後も増えていく移動ニーズに対して、地域のさまざまな力がサービスを補いあうとともに、利用者本位のサービスを創造してまいります。

◆スケジュール

【令和7年度】

実施月	実施内容
4月 ～ 3月	障がい者・高齢者のための外出介助サービスの実施

【令和8年度】

実施月	実施内容
4月 ～ 3月	障がい者・高齢者のための外出介助サービスの実施

【令和9年度】

実施月	実施内容
4月 ～ 3月	障がい者・高齢者のための外出介助サービスの実施

◆収支予算書

【令和7年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
利用料収入	2,600,000	利用会員、透析会員
負担金	177,776	
収入合計	2,777,776	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	1,800,000	
保険料	129,000	自動車保険、NPO活動総合保険など
燃料費	96,000	
車両費	612,000	車両リース料 51,000円×12か月
その他	140,776	通信費等
支出合計	2,777,776	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和8年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
利用料収入	2,600,000	利用会員、透析会員
負担金	177,776	
収入合計	2,777,776	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	1,800,000	
保険料	129,000	自動車保険、NPO活動総合保険など
燃料費	96,000	
車両費	612,000	車両リース料 51,000円×12か月
その他	140,776	通信費等
支出合計	2,777,776	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和9年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
利用料収入	2,600,000	利用会員、透析会員
負担金	177,776	
収入合計	2,777,776	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	1,800,000	
保険料	129,000	自動車保険、NPO活動総合保険など
燃料費	96,000	
車両費	612,000	車両リース料 51,000円×12か月
その他	140,776	通信費等
支出合計	2,777,776	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

団体の名称等	NPO 法人 大和市腎友会 【代表者の職名・ ^{ふりがな} 氏名】会長 ^{ふじもと} 藤本 ^{あきひさ} 曜久
団体の住所
連絡担当者 及び連絡先	^{ふりがな} 担当者名 電 話 e-mail 住 所
ホームページ (URL)	http://www.yjin.or.jp//
設立年月	平成 13年 1月(法人格取得時期 平成 13年 1月)
設立の目的・ 経緯	1. 目的 腎臓病及び糖尿病に関する正しい知識の普及及び社会啓 発並びに腎臓病及び糖尿病患者の自立と社会参加の促進を 図るとともに、予防対策を深め、もって市民の健康福祉の 向上に寄与すること。 2. 経緯 1982 (S57)年 2月 任意団体大和市腎友会発足 2001 (H13)年 1月 NPO 法人大和市腎友会

<p>主な活動地域</p>	<p><input type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動</p> <p><input type="checkbox"/> 市外を中心に活動</p> <p>(活動地域：相模原市、藤沢市、町田市、横浜市など)</p>			
<p>活動内容と活動実績</p>	<p>1. 福祉有償運送事業関係</p> <p>2001 (H13) 年 6 月 透析通院送迎事業を開始</p> <p>2003 (H15) 年 11 月 国交省より自家用自動車有償運送事業許可</p> <p>2004 (H16) 年 4 月 大和市との協働事業開始</p> <p>2004 (H16) 年 4 月 国交省より相模原市への地域拡大許可</p> <p>2006 (H18) 年 10 月 道路運送法改正 (登録制)</p> <p>2007 (H19) 年 4 月 大和市より福祉車両の寄贈</p> <p>2010 (H22) 年 4 月 複数乗車形態を一部導入</p> <p>2011 (H23) 年 8 月 対価の変更 (実価を変えず、明瞭性向上のみ)</p> <p>2020 (R 2) 年 6 月 対価の変更 (実価の変更)</p> <p>2. 福祉事業関係</p> <p>①透析の患者会として、透析、医療、透析食、合併症などの情報交換を毎年開催している。</p> <p>②会員向け機関誌の発行 「やまとじんゆう」年3回発行</p> <p>③透析者向けの防災対策を2004年から継続実施している。</p>			
<p>会員数</p>	<p>.....208人</p>			
<p>過去に助成を受けた実績</p>	<p>支給団体名</p>	<p>年月</p>	<p>金額</p>	<p>内容</p>
	<p>日本財団</p>	<p>2002年</p>	<p>337万円</p>	<p>車両助成</p>
	<p>丸紅基金</p>	<p>2003年</p>	<p>200万円</p>	<p>同</p>
	<p>日本財団</p>	<p>2003年</p>	<p>288万円</p>	<p>同</p>
	<p>神奈川県ランタリ-活動推進基金</p>	<p>2005年</p>	<p>200万円</p>	<p>透析者の防災対策</p>
	<p>同</p>	<p>2006年</p>	<p>200万円</p>	<p>同</p>
	<p>同</p>	<p>2007年</p>	<p>200万円</p>	<p>同</p>
	<p>(独)福祉医療機構</p>	<p>2007年</p>	<p>177万円</p>	<p>障がい者防災フォーラム</p>
	<p>日本財団</p>	<p>2008年</p>	<p>201万円</p>	<p>車両助成</p>
	<p>(独)福祉医療機構</p>	<p>2009年</p>	<p>200万円</p>	<p>障がい者参加の地域活性化防災訓練事業</p>
	<p>(独)福祉医療機構</p>	<p>2010年</p>	<p>200万円</p>	<p>同</p>

	市担当課名	年～年	負担金	内容
協働事業 の実績 ※継続事業の 場合のみ記載	障がい福祉課	2004年～ 2006年	200,000円	
			200,000円	
			200,000円	
	同	2007年～ 2009年	177,776円	
			177,776円	
			177,776円	
	同	2010年～ 2012年	177,776円	
			177,776円	
			177,776円	
	同	2013年～ 2015年	177,776円	
			177,776円	
			177,776円	
	同	2016年～ 2018年	177,776円	
			177,776円	
177,776円				
同	2019年～ 2021年	177,776円		
		177,776円		
		177,776円		
同	2022年～ 2024年	177,776円		
		177,776円		
		177,776円		



第4号様式

6年5月10日

令和6年度協働事業提案申請書

大和市長 へ

申請者 団体名 特定非営利活動法人 たんぽぽ
はふかしょうへい
 代表者の職名・氏名 羽 深 章 平 理事長

住 所 _____

連絡先 _____

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	<u>有償終結サービス</u>
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
 (ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※) () <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
 また、資料はA4の大きさにそろえてください。



第1号様式

6年 5月 10日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	特定非営利活動法人たんぽぽ
事業名称	有償移動サービス
協働したい担当課	障がい福祉

解決したい課題	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生活できる収益の増額 2) 運転会員の増員 3) 収益への向上
事業の目的	この事業は障がい者・高齢者の移動制約者が外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進が図られることを目的とする。
事業の内容	有償移動サービス 障がい者、高齢者への一般車輛、福祉車輛を使った病院、介護施設、などへの送迎サービスの実施
事業実施で得られる成果	外出困難者が、安心して社会参加できること

令和7年度 事業予算	2,088,888 円(希望市負担金額 88,888 円)
役割分担	<p>【応募者】</p> <p>有償移動サービスの提供</p>
	<p>【市の事業担当課】</p> <p>協働事業負担金・駐車場の提供 広報誌・ホームページなどによる事業の周知 福祉車両助成事業による利用料助成券の交付・補助</p>
市との協働の 必要性	<p>市との協働事業により、毎年支給されている福祉タクシー券・福祉車両利用券等については、利用者にとって、外出する機会を促進することとなります。</p> <p>また、経済的に困難な方々においては、おおいに助かります。</p> <p>業務にあたり、利用者にとっては市協働事業ということにより、信頼に安心感が加わり事業者にとっては大きなメリットと考えます。</p>
協力団体	
その他	<p>高齢者がますます多くなる現在、運転会員の不足対応に苦慮しています。</p> <p>これによって利用者の増加も見込まれるところですが、担い手不足も大きな課題となっており、運転者講習なども含め、事業継続のため市に事業の周知・啓発をお願いしたい。</p>

◆スケジュール

【令和7年度】

実施月	実施内容
毎月 6月 9月	連絡調整打合 運行管理者講習 安全運転講習

【令和8年度】

実施月	実施内容
毎月 6月 9月	連絡調整打合 運行管理者講習 安全運転講習

【令和9年度】

実施月	実施内容
毎月 6月 9月	連絡調整打合 運行管理者講習 安全運転講習

◆収支予算書

【令和7年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
事業収益	2,000,000	利用料等収入(会費ほか含む)
市助成金	88,888	
収入合計	2,088,888	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
工賃	1,100,000	運転会員の労賃
車両費	400,000	
通信費	208,888	
減価償却	380,000	
支出合計	2,088,888	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和8年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
事業収益	2,000,000	利用料等収入(会費ほか含む)
市助成金	88,888	
収入合計	2,088,888	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
工賃	1,100,000	運転会員の労賃
車両費	400,000	
通信費	208,888	
減価償却	380,000	
支出合計	2,088,888	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和9年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
事業収益	2,000,000	利用料等収入(会費ほか含む)
市助成金	88,888	
収入合計	2,088,888	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
工賃	1,100,000	運転会員の労賃
車両費	400,000	
通信費	208,888	
減価償却	380,000	
支出合計	2,088,888	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

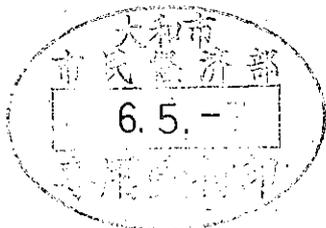
※行が不足する場合は追加してください。

6年5月10日

自己紹介シート

<p>団体の名称等</p>	<p>特定非営利活動法人たんぽぽ はふか しょうへい 【代表者の職名理事長・^{ふりがな}氏名 羽 深 章 平 】</p>
<p>団体の住所</p>	<p>.....</p>
<p>連絡担当者 及び連絡先</p>	<p>.....</p> <p>^{ふりがな} 担当者名</p> <p>電 話, FAX</p> <p>e-mail</p> <p>住 所</p> <p>.....</p>
<p>ホームページ (URL)</p>	<p>.....</p>
<p>設立年月</p>	<p>平成17年 3月(法人格取得時期 平成18年 4月)</p>

設立の目的・経緯	高齢者及び障がい者にたいして、介護に関する事業を行い、健康作り・生きがいつくり等を通じて、福祉等に寄与することを目的とする。			
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 (活動地域：)			
活動内容と活動実績	福祉有償運送事業は身体障害を持った人・知的障がい者高齢者方たちへの外出介助を実施しています。			
会員数75.....人 (登録会員)			
過去に助成を受けた実績	支給団体名	年月	金額	内容
協働事業の実績 ※継続事業の場合のみ記載	市担当課名	年～年	負担金	内容
		4年～6年	44,444 44,444 44,444	福祉車両補助金
		1年～3年	44,444 44,444 44,444	〃
		29年～31年	44,444 44,444 44,444	〃
		年～年		
		年～年		



第4号様式

令和6年5月7日

令和6年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 大和女性防犯会

代表者の職名・氏名 会長 小菅 陽子

住所

連絡先

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	みんなでつくろう安心のまち事業
申請種別 (どちらかにチェック)	<input type="checkbox"/> 市民提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※) () <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



令和6年4月12日

行政提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	大和女性防犯会
事業名称 (テーマ名と同一でも可)	みんなでつくろう安心のまち事業 (事業担当課と相談の上、ご記入ください)
応募したいテーマ	みんなでつくろう安心のまち事業(生活あんしん課)

解決したい課題	犯罪認知件数の減少。 体感治安の向上。
事業の目的	防犯啓発や犯罪教育を協働事業者と協働で実施することにより、犯罪認知件数の減少を目指し、安心して暮らせるまちをつくること。
事業の内容	<p>上記の目的を達成するために、以下の活動を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯キャンペーン(年20回) 各種イベント会場、駅前等において自転車盗などの乗り物盗、空き巣、ひったくり、振り込め詐欺などの身近な犯罪に対する自主防犯意識の啓発活動を実施 ・年金支給日の防犯キャンペーン(年6回) 年金支給日に銀行周辺において高齢者に対し、振り込め詐欺被害防止のためのキャンペーンの実施 ・歓楽街対策パトロール(年12回) 毎月第4金曜日夜7時から、大和駅前歓楽街において徒歩でパトロールを実施 ・地域における防犯パトロールへの参加(随時) ・登下校時の子ども見守り活動の実施(随時) ・地域における防犯講話の実施(随時)

<p>私たちが できること</p>	<p>各種イベント会場で防犯コーナーを設置し、地域の方、子どもたちへの広報啓発、登校時の子どもの見守り活動への協力、防犯キャンペーン・パトロール等の活動、緊急の要請にも対応できる柔軟性をもった活動を実施しており、一人でも多くの方に防犯意識をもってもらい、安心して暮らせるまちをつくることに協力できる。</p>
<p>令和7年度 事業予算</p>	<p>532,000 円(希望市負担金額 532,000 円)</p>
<p>役割分担</p>	<p>【応募者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 防犯キャンペーン及びパトロールの実施 ② 防犯に関する座談会及び講演会の開催 ③ 防犯広報資料の作成及び配布 ④ 子どもの見守り活動、防犯教室の開催 ⑤ 高齢者の被害防止活動と指導 ⑥ その他の防犯活動への参加と情報の交換 <p>【市の事業担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 防犯キャンペーン・イベントなどの企画 ② 活動実施に関わる経費の負担 ③ 啓発活動等の広報 ④ 施設の提供 ⑤ 参加者の募集
<p>協力団体</p>	<p>大和警察署、大和・綾瀬地区防犯協会連合会、大和・綾瀬地区防犯指導員連絡会</p>
<p>その他</p>	<p>コロナ禍における行動規制が解除され、人々の交流が再開された今日、犯罪の認知件数も増加の一途をたどっている状況である。</p> <p>そんな今こそ、市民目線かつ女性の特性を生かした繊細な視点で工夫した防犯活動を実施できる大和女性防犯会との協働事業を継続していく必要があると考える。</p>

◆スケジュール

【令和7年度】

実施月	実施内容
毎月	防犯キャンペーンの実施（駅、大型店舗等）
毎月	歓楽街対策パトロール
隔月	年金支給日キャンペーン（4, 6, 8, 10, 12, 2月）
5月	やまと市民まつりにおけるブース出店（大和市防犯協会と協力）
8月	ふるさとやまとサマーフェスティバルにおけるキャンペーン
10月	安全安心まちづくり旬間キャンペーン
10～11月	ふれあい広場におけるキャンペーン
11月	県女性防犯会合同キャンペーン

【令和8年度】

実施月	実施内容
毎月	防犯キャンペーンの実施（駅、大型店舗等）
毎月	歓楽街対策パトロール
隔月	年金支給日キャンペーン（4, 6, 8, 10, 12, 2月）
5月	やまと市民まつりにおけるブース出店（大和市防犯協会と協力）
8月	ふるさとやまとサマーフェスティバルにおけるキャンペーン
10月	安全安心まちづくり旬間キャンペーン
10～11月	ふれあい広場におけるキャンペーン
11月	県女性防犯会合同キャンペーン

【令和9年度】

実施月	実施内容
毎月	防犯キャンペーンの実施（駅、大型店舗等）
毎月	歓楽街対策パトロール
隔月	年金支給日キャンペーン（4, 6, 8, 10, 12, 2月）
5月	やまと市民まつりにおけるブース出店（大和市防犯協会と協力）
8月	ふるさとやまとサマーフェスティバルにおけるキャンペーン
10月	安全安心まちづくり旬間キャンペーン
10～11月	ふれあい広場におけるキャンペーン
11月	県女性防犯会合同キャンペーン

◆収支予算書

【令和7年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	532,000	市協働事業負担金
収入合計	532,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
啓発品購入費	250,000	自転車盗難防止錠、詐欺啓発うちわ等
謝礼	120,000	ゲストのキャンペーン出演料(30,000円×4回)
消耗品費	30,000	文具代、手紙・資料等送付代
交通費	82,000	会員の活動時交通費、研修利用バス代(会員20名分)
広告費	50,000	タウンニュース社広告掲載費
支出合計	532,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和8年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費 目	金 額(円)	内 訳
市負担金	532,000	市協働事業負担金
収入合計	532,000	

支出の部

費 目	金 額(円)	内 訳
啓発品購入費	250,000	自転車盗難防止錠、詐欺啓発うちわ等
謝礼	120,000	ゲストのキャンペーン出演料(30,000円×4回)
消耗品費	30,000	文具代、手紙・資料等送付代
交通費	82,000	会員の活動時交通費、研修利用バス代(会員20名分)
広告費	50,000	タウンニュース社広告掲載費
支出合計	532,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和9年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	532,000	市協働事業負担金
収入合計	532,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
啓発品購入費	250,000	自転車盗難防止錠、詐欺啓発うちわ等
謝礼	120,000	ゲストのキャンペーン出演料(30,000円×4回)
消耗品費	30,000	文具代、手紙・資料等送付代
交通費	82,000	会員の活動時交通費、研修利用バス代(会員20名分)
広告費	50,000	タウンニュース社広告掲載費
支出合計	532,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の18ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

令和6年4月12日

自己紹介シート

団体の名称等	大和女性防犯会 【代表者名】 会長 小菅 陽子
団体の住所	〒
連絡担当者 及び連絡先	ふりがな 担当者名 電 話 FAX e-mail 住 所
ホームページ	なし
設立年月	平成 10年 4月 (法人格取得時期 平成 年 月)
設立の目的・ 経緯	大和女性防犯会は、平成10年4月犯罪が増加する情勢の下、地域社会におけるボランティア活動の中心となり、女性の視点や特性を生かしたきめ細かな防犯活動により犯罪のない明るいまちづくりを推進することを目指して大和市内在住の女性により結成されました。 大和女性防犯会の会員は、大和市自治会連絡協議会の理事により推薦され、大和・綾瀬地区防犯協会連合会会長と大和警察署長の連名により委嘱されており、大和警察署、大和・綾瀬地区防犯協会連合会、大和市自治会連絡協議会、大和市防犯協会等の関係各位の協力を得て、地域防犯活動に幅広く活動しています。

<p>主な活動地域</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 (活動地域：)				
<p>活動内容と活動実績</p>	<p>大和女性防犯会は、大和警察署・大和市防犯協会・防犯指導員等と協力して、積極的に地域の防犯活動に参画して、犯罪のない明るく住み良い街づくりを推進することを目的としています。</p> <p>本会は、目的を達成するために次の活動を行います。</p> <p>(1) 防犯キャンペーン及びパトロールの実施。 (2) 防犯に関する座談会及び講演会の開催。 (3) 防犯広報資料の作成及び配布。 (4) 子どもの見守り活動、防犯協会の開催。 (5) 高齢者の被害防止活動と指導。 (6) その他の防犯活動への参加と情報の交換。</p> <p>防犯キャンペーン (毎月) 歓楽街対策パトロール (毎月) 年金支給日振り込め詐欺撲滅キャンペーン (隔月) その他 自治会行事、地域のお祭り等における防犯活動、防犯チラシポスティング等</p>				
<p>会員数</p>	<p>..... 20人</p>				
<p>過去に助成を受けた実績</p>	<p>支給団体名</p>	<p>年月</p>	<p>金額</p>	<p>内容</p>	
<p>協働事業の実績 ※継続事業の場合のみ記載</p>	<p>市担当課名</p>	<p>年～年</p>	<p>負担金</p>	<p>内容</p>	
	生活あんしん課	平成 22 年 ～ 平成 24 年	329,000	みんなであつくる まちの安心事業	
			329,000		
			329,000		
	生活あんしん課	平成 25 年 ～ 平成 27 年	329,000	みんなであつくる まちの安心事業	
			329,000		
			329,000		
	生活あんしん課	平成 28 年 ～ 平成 30 年	329,000	みんなであつくる まちの安心事業	
			329,000		
			429,000		
	生活あんしん課	平成 31 年 ～ 令和 3 年	532,000	みんなであつくる まちの安心事業	
			532,000		
			532,000		
生活あんしん課	令和 4 年 ～ 令和 6 年	532,000	みんなであつくる まちの安心事業		
		532,000			
		532,000			